

農

林

農 業 振 興
農 業 農 村 整 備
林 業
公 設 地 方 卸 売 市 場



農 業 振 興 (農政課)

1 農業振興計画

(1) 農業振興地域整備計画管理

山形農業振興地域整備計画（昭和47年7月20日告示）について、農用地利用計画の変更を主に、必要な措置を講じた。

① 令和2年度分農用地利用計画の変更

- ・農用地区域からの除外 12件 21,643.28㎡
- ・用途区分の変更 1件 193.18㎡

② 農用地区域の確認証明 取扱件数 58件 (236筆)

③ 農用地利用計画の状況（令和3年3月末現在）

(単位：ha)

| 現況地目 | 田 | 畑 | 樹園地 | 採草放牧地 | 混牧林地 | 農業用施設用地 | 山林・原野 | 計 |
|------|---------|-------|-------|-------|------|---------|-------|---------|
| 面積 | 3,867.1 | 249.8 | 987.5 | 0 | 0 | 17 | 152.9 | 5,274.3 |

(2) 地域指定等

- ① 農業振興地域の指定（昭和47年3月31日）
農業振興地域面積 13,133ha
- ② 振興山村地域の指定（昭和47年2月3日）
- ③ 村山広域営農団地整備計画（昭和50年3月31日県告示）

2 担い手育成支援事業

(1) 山形市青年農業士制度

若い農業者の模範となり、農業経営を意欲的に実践し、将来にわたり農業で自立を志向する者を市長が「青年農業士」として認定し、農業者の社会的評価を高めるとともに、地域農業のリーダーとなる人材を育成し、自主的な組織活動の促進と農業の担い手育成確保に資する目的で、昭和53年度に制度を制定した。

（昭和56年4月13日に、組織活動のより一層の促進を図るため、これまでの25歳から30歳までの活動期間を、25歳から35歳までに改正、更に昭和62年4月10日、同活動期間をおおむね25歳から40歳までに改正した。平成15年6月2日、市内の二農協組合長に加え、農業委員も推薦できるよう改正した。また、平成17年5月16日、これまでのおおむね25歳から40歳までの活動期間を、20歳から40歳までに改正した。さらに、平成30年4月1日には、20歳から40歳までの活動期間を、20歳から45歳までに改正した。）

- ・認定者数 50人（令和3年3月末現在）
- ・山形市青年農業士会発足 昭和54年12月18日

(2) 認定農業者の認定

経営感覚に優れた農業経営体を育成するため、農業経営基盤強化促進法に基づき認定農業者の認定を行い、令和3年3月末時点で403経営体になった。

| | 合計 | 1回目 | 2回目 |
|-------|--------|---------|---------|
| 認定審査会 | 2回 | R2.7.17 | R3.2.5 |
| 認定日 | 2回 | R2.8.8 | R3.2.13 |
| 新規認定者 | 21経営体 | 8経営体 | 13経営体 |
| 再認定者 | 95経営体 | 52経営体 | 43経営体 |
| 総数 | 403経営体 | 408経営体 | 403経営体 |

(3) 認定農業者経営改善計画支援事業

認定農業者の農業経営改善計画を支援するため、認定農業者が整備する農業生産施設、農業用機械及び機械のオーバーホールに対して補助金を交付した。

| 事業主体 | 事業内容 | 件 | 事業費（千円） | 補助金（千円） |
|--------------|---------|----|---------|---------|
| 認定農業者 55名 | 農業生産施設 | 6 | 9,526 | 2,854 |
| | 農業用機械 | 44 | 85,860 | 21,479 |
| | オーバーホール | 6 | 3,131 | 882 |
| | 計 | 56 | 98,517 | 25,215 |

(4) 認定農業者研修会等の開催

各種研修会を開催し、資質の向上を図った。

| | |
|------------|-------|
| 認定農業者制度研修会 | 8月、2月 |
|------------|-------|



(5) 認定農業者情報誌の発行

情報誌を年6回発行し、認定農業者への情報提供を図った。

| | |
|--------------|------------------------|
| 「えいのうキング」の発行 | 4月、5月、7月、9月、10月、12月、1月 |
|--------------|------------------------|

(6) 認定農業者組織への助成

組織活動の支援として、19地区の認定農業者組織に対して助成を行った。

| | |
|------|---|
| 交付地区 | 明治、蔵王、千歳、楯山、南沼原、村木沢、金井、南山形、鈴川、出羽、旧市、大郷、飯塚、大曾根、西山形、本沢、樫沢、山寺、高瀬 |
|------|---|

(7) 農業後継者及び認定農業者育成支援事業貸付金の貸付

| 貸付原資 | 原資貸付先 | 原資貸付金利 | 貸付条件 |
|----------|-----------|--------|---|
| 20,000千円 | 山形市農業協同組合 | 年利0% | おおむね20歳から40歳までの 農業後継者及び認定農業者 貸付限度額 5,000千円 期間 10年以内 金利 年利1% |
| 30,000千円 | 山形農業協同組合 | | |

・令和2年度 貸付状況 件数0件 貸付額 0千円 年度末融資残高合計額 468千円

(8) 「人・農地プラン」実質化に向けた取組

高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等の「人と農地の問題」を解決するため、5年後、10年後における農地の活用についてアンケートの実施、地図の作成（現状把握）、各地区での話し合いを行い、農業関係機関や農業者の代表で構成する検討会を開催し「人・農地プラン」を作成・更新した。

・検討会開催回数 1回

| | |
|------|---|
| 作成地区 | 明治、蔵王、千歳、南沼原、村木沢、金井、南山形、鈴川、出羽、旧市、大郷、大曾根、西山形、本沢、滝山、東沢、飯塚・樫沢、楯山・山寺・高瀬 |
|------|---|

(9) 新規就農支援事業

就農初期における負担の軽減を図るため、市内で就農した新規就農者の農地賃借料及び機械の導入に対して助成した。

① 農地賃借料補助

- ・対象者 就農から3年以内の新規就農者1人
- ・補助額 基準額に賃借面積に乗じて得た額と実際賃借料のいずれか少ない額
- ・補助金額 32千円

② 機械・施設導入補助

- ・対象者 就農から3年以内の新規就農者2人
- ・補助額 事業費の3/10以内の額
- ・補助金額 332千円（事業費：1,110千円）

③ 住宅家賃補助

- ・対象者 新規就農市外からの転入者
就農から5年以内の新規就農者1人
- ・補助額 住宅家賃の1/2以内の額
- ・補助金額 225千円（事業費：450千円）

④ 新規就農者受入協議会等支援事業

- ・対象者 支援対象区域を「山形市」と定めている新規就農者受入協議会等
- ・補助額 補助対象経費以内の額
- ・補助金額 559千円（事業費：689千円）

(10) 農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）

青年層の新規就農者確保と就農後の定着を図るため、経営が不安定な経営開始直後の新規就農者に対し給付金を給付した。

- ・給付人数 16人
- ・給付金額 27,148千円
(750千円×1人、1,042千円×1人、1,356千円×1人、1,500千円×7人、2,250千円×6人)

(11) 子どもたちの農業・農村体験学習推進事業

市内小学3年生を対象に、社会科の参考資料として農業資料集「さなえ・みのるの山形市農業たんけん隊」を作成・配付し、農業への理解を深めた。(2,300部)

(12) 農地中間管理機構集積協力金交付事業

農業の競争力・体質強化を図るため、農地中間管理機構を通して農地の有効利用や農業経営の効率化を進める担い手への農地集積に協力した者及び地区に対し、協力金を交付し、農地の集積・集約化を図った

| 協力金名称 | 件数 | 対象面積 | 金額 |
|---------|-----|---------|------------|
| 経営転換協力金 | 54件 | 19.27ha | 2,890,500円 |
| 地域集積協力金 | - 件 | - ha | - 円 |
| 計 | 54件 | 19.27ha | 2,890,500円 |

3 農業の生産と流通

(1) 稲作

令和2年度の水稲作付面積は2,337haで、前年度から3ha減少した。

村山地帯の作況指数は104でやや良となった。県内他地帯においては庄内が105、置賜が103、最上が102で、山形県全体では104のやや良となった。

水稲作付面積の増加や10a当たりの収量の増加により、収穫量については16,400tと前年に比べ100tの増加となった。

山形市水稲生産量の推移

| 年次 | 水稲作付面積 ha | 10a当たり 収量 kg | 収穫量 トン | 作況指数 |
|------|--------------|--------------------|-----------|------|
| 平成 2 | 3,750 | 585 | 21,900 | 97 |
| 3 | 3,680 | 573 | 21,100 | 95 |
| 4 | 3,580 | 578 | 20,740 | 96 |
| 5 | 3,680 | 532 | 19,600 | 88 |
| 6 | 3,670 | 653 | 24,000 | 108 |
| 7 | 3,410 | 566 | 19,300 | 94 |
| 8 | 3,060 | 624 | 19,100 | 104 |
| 9 | 3,020 | 634 | 19,100 | 106 |
| 10 | 2,730 | 622 | 17,000 | 104 |
| 11 | 2,680 | 612 | 16,400 | 104 |
| 12 | 2,680 | 642 | 17,200 | 105 |
| 13 | 2,590 | 641 | 16,600 | 102 |
| 14 | 2,590 | 631 | 16,300 | 101 |
| 15 | 2,560 | 588 | 15,100 | 92 |
| 16 | 2,580 | 635 | 16,400 | 101 |
| 17 | 2,590 | 660 | 17,100 | 101 |
| 18 | 2,580 | 637 | 16,400 | 101 |
| 19 | 2,490 | 636 | 15,800 | 102 |
| 20 | 2,460 | 672 | 16,500 | 105 |
| 21 | 2,450 | 654 | 16,000 | 102 |
| 22 | 2,460 | 653 | 16,100 | 101 |
| 23 | 2,420 | 642 | 15,500 | 102 |
| 24 | 2,420 | 628 | 15,200 | 101 |
| 25 | 2,510 | 673 | 16,900 | 105 |
| 26 | 2,490 | 674 | 16,800 | 105 |
| 27 | 2,410 | 657 | 15,800 | 103 |
| 28 | 2,410 | 650 | 15,700 | 103 |
| 29 | 2,420 | 648 | 15,700 | 100 |
| 30 | 2,390 | 625 | 14,900 | 96 |
| 令和元 | 2,440 | 668 | 16,300 | 105 |
| 2 | 2,337 | 667 | 16,400 | 104 |

(出典：東北農政局)

① 農地集約化・本作物支援事業

平成30年度の国の米政策の転換に合わせて、地域の作物戦略、販売戦略、水田の利用、担い手の育成等将来の山形市の農業の方向性を明記した新たな「山形市地域水田農業ビジョン」に基づき、水田農業の構造改革を推進することにより、地域全体で水田の有効利用に取り組むための諸対策を行う。

令和2年度水田農業構造改革対策実績表

| 米の生産の目安 | 水稲作付面積目標 | 水稲作付実地面積 | 達成率 | 一般作物 | 永年性作物 | 特定作物 | 調整水田その他 |
|---------|----------|----------|-------|-------|-------|-------|---------|
| t | ha | ha | % | ha | ha | ha | ha |
| 15,837 | 2,472.0 | 2,337.0 | 105.7 | 525.8 | 8.2 | 153.0 | 1,151.1 |

ア 転作営農指導の強化対策

転作の定着化を図るため、各農協における営農指導の強化と農協指導事業の強化に対し助成措置を講じた。

- ・地域営農推進事業費補助金 10,000千円



イ 転換作物作付拡大支援事業

水田のフル活用を図り耕作放棄地の防止し、水田の維持保全を図るため、生産の目安に基づき、水稻の生産を行う農業者に対し助成を行った。

- ・対象面積 8,281,845㎡
- ・補助金合計 24,846千円

ウ 土地利用型作物作付促進事業

水田のフル活用を図り、土地利用型作物への転換を推進し作物の品質向上と生産の拡大及び需要に応じた米の生産の推進を図るため、団地を形成して土地利用型作物の作付の本作化を目指す生産組織及び法人に対し、助成を行った。

| 種別 | 実施面積 (収穫量) | 面積基準補助単価 収穫量基準補助単価 | 補助金額 (千円) |
|----|-------------------------|-------------------------------------|--------------|
| そば | 214.35ha (116,666kg) | 10,500円/10a (法人加算2,500円) 400円/kg | 69,498 |
| 大豆 | 191.15ha (356,581kg) | 10,500円/10a (法人加算2,500円) 60円/kg | 42,794 |
| 麦 | 45.13ha (124,672kg) | 10,500円/10a (法人加算2,500円) 60円/kg | 12,994 |
| 枝豆 | 4.76ha | 10,500円/10a (法人加算2,500円) | 575 |
| 計 | 455.39ha | | 125,861 |

エ 地域水田農業組織育成事業

「地域水田農業ビジョン」実現のため、各地区の組織育成の体制整備等に対して助成を行った。

| 区分 | 数量 | 補助単価 | 補助金額 (千円) |
|-------|---------|-----------|-----------|
| 均等割 | 344組合 | 8,000円/組合 | 2,752 |
| 農家数割 | 5,804戸 | 500円/戸 | 2,902 |
| 水田面積割 | 4,178ha | 500円/ha | 2,089 |
| 計 | | | 7,743 |

オ 地域水田農業ビジョン実践支援事業

「山形市地域水田農業ビジョン」実現のため、農業協同組合及び各地区や生産組合が取り組む事業に対して助成を行った。

| 事業数 | 補助金額 (千円) |
|-----|-----------|
| 6件 | 691 |

カ 園芸作物産地化推進支援事業

水田における園芸作物の振興及び水田を活用した永年性作物の産地化を推進することにより、水田農業経営の確立を図るため、産地化を目的に選定した下記の作物を作付けした農業者に対して支援を行った。

| 区分 | 単価(円/10a) | 面積 (a) | 補助額 (円) | 対象農家数 |
|--------|-----------|--------|---------|-------|
| アスパラガス | 20,000 | 0 | 0 | 0 |
| 啓翁桜 | 20,000 | 0 | 0 | 0 |
| もも | 30,000 | 0 | 0 | 0 |
| ブドウ | 30,000 | 14.69 | 44,070 | 2 |
| さくらんぼ | 30,000 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | | 14.69 | 44,070 | 2 |

キ 農地集約推進活動支援報償金

農地の利用状況の向上を目指し、借り手貸し手の意向を調査するため、農地集約に係る地区活動を行う実行組合に対し謝礼を支払った。

- ・事業実施主体 344実行組合
- ・報償金額合計 3,440千円

ク 農業機械導入支援事業

農地の集約を目指す認定農業者及び農事組合法人や集落営農組織の農業機械導入に対し支援を行った。

- ・事業実施主体 26経営体
- ・補助金額合計 28,477千円

ケ 航空防除機材購入支援事業

山形市航空防除協議会が実施する、水田の一斉防除で使用する無人ヘリコプターの購入費用に対して助成を行った。

- ・補助額 対象経費の3/10
- ・補助金額合計 8,130千円

コ センシング技術等導入事業

スマート農業の取組を行う農業者のうち、水田のリモートセンシング、撮影、評価、ドローンの操縦免許取得のための講習会参加費用に対して助成した。

(1) センシング技術の導入事業

- ・補助率 1/2
- ・補助金額 0円

(2) 認定オペレーターの資格取得事業

- ・補助率 3/10
- ・補助金額 439千円

サ 米まつりの開催

「第20回山形市農畜産物フェスティバル」において米消費拡大の一環として「第41回山形市米まつり」を開催した。

- ・期日 令和2年10月17日（土）
- ・内容 米に関するパネル・ポスターの展示、生落花生の配布。

シ 山形市農業塾の開催

生産コストの低減と農業経営の効率化を図るため、ドローンを活用したセンシング技術や基本となる土づくりを学ぶ場として「山形市農業塾」の開催を準備したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催できなかった。

- ・助成額 488千円

② 水稲病害虫防除対策事業

ア 水稲病害虫防除対策事業

米の品質低下を防ぐため、斑点米カメムシ類の防除に要する薬剤の掛かり増し経費（実施面積1,885ha）に対し助成を行った。

- ・水稲病害虫防除対策事業費補助金 2,555千円

イ 航空防除安全対策事業

水稲の航空防除事業の円滑な推進及び危被害発生の未然防止を目的とし、安全対策費の一部を助成した。

- ・航空防除安全対策事業費補助金 88千円

ウ 畦畔カメムシ防除対策事業

水田の共同防除の効果を高めるため、畦畔や隣接地の防除を行うことでカメムシの生息密度を下げるため薬剤や散布経費に対して助成した。

- ・補助率 3/10
- ・助成額 486千円

(2) 畑作

本市の気候・土壌条件等から、果樹・野菜・花き・特用作物等は、多岐にわたり栽培され、本市の中核となる重要品目である。水田転作による園芸作物、果樹園地の団地化等を進め、生産組織の育成と近代化を推進する等省力化による栽培体系の改善に努める一方、市場対応としての生産、出荷、組織及び系統出荷体制の育成・整備を推進している。

しかしながら、農作物のブランド化に伴う産地間競争の激化や輸入野菜増大等から、価格の産地間格差が拡大する傾向が強まっている。

このため、生産を長期的に安定させるための計画的集団産地の育成、共同販売体制の確立を図り、青果物の生産・出荷の合理化を推進することはもとより、より一層の山形ブランドのPR推進を図っている。

① 中山間地域農業活性化推進事業

中山間地域等は、国土保全等の公益的機能を有しているが、農業生産条件が不利なため、耕作放棄地の増加が懸念される。そのため、農業生産活動を支援することにより、農地保全を推進するとともに、中山間地域の特性を生かした作物振興、地域振興を図る。

紅花栽培実証展示圃設置事業

市の花である紅花の生産振興と栽培技術の普及拡大のため実証展示圃設置を委託した。

| 事業実施主体 | 受益面積 | 事業内容 | 事業費 |
|----------|--------|------------|-----------|
| 高瀬紅花生産組合 | 140.0a | 紅花展示圃の設置委託 | 千円 545 |

② 園芸作物振興対策事業

園芸作物の生産基盤の強化や有望品種の導入を推進することにより栽培技術の高度化を図り産地銘柄を確立し、農業者の経営安定を図った。

ア おうとう受粉蜂導入拡大事業

おうとうの開花時期の結実向上を図るため、ミツバチ導入拡大事業に対して助成を行った。

| 事業実施主体 | 受益戸数 | 事業内容 | 事業費 | 県補助 | 市補助 |
|----------------|------|-------------|-------------|---------|-------------|
| 山形市果樹振興協議会 | 147戸 | 受粉蜂導入（263群） | 千円 4,340 | 千円 — | 千円 1,284 |
| 中野目ハウスさくらんぼ研究会 | 3戸 | 受粉蜂導入（10群） | 千円 330 | 千円 — | 千円 99 |

イ おうとう・ぶどう施設修繕支援事業

おうとう及びぶどうの栽培に要するパイプハウス及び雨よけハウスの老朽化による修繕に対する助成を行った。

| 事業実施主体 | 受益戸数 | 事業内容 | 事業費 | 県補助 | 市補助 |
|----------------------|------|----------|-----------|---------|-----------|
| 市内さくらんぼ農家 及びぶどう農家 | 4戸 | 雨よけハウス修繕 | 千円 744 | 千円 — | 千円 199 |

ウ 園芸大規模団地整備支援事業

山形市農業戦略本部で決定された戦略農産物の大規模生産団地の整備及び新規就農者及び研修生受入れに対する助成を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費 | 国補助 | 県補助 | 市補助 |
|----------|--------------------------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 山形農業協同組合 | 桃栽培用かん水設備、 スピードスプレーヤー、乗用草刈機 | 千円 8,949 | 千円 4,068 | 千円 813 | 千円 947 |

エ 農業用ハウス強化緊急対策事業

老朽化等により十分な耐性を備えておらず対策が必要な農業用ハウスについて、市が策定する災害の未然防止に向けた取組計画に基づいて実施される農業用ハウスの補強、防風ネットの設置等の対策に支援を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費 | 国補助 | 県補助 | 市補助 |
|----------|-----------|-------------|-----------|---------|---------|
| 市内農家（1戸） | パイプハウスの補強 | 千円 1,202 | 千円 601 | 千円 — | 千円 — |

オ 園芸大国やまがた産地育成支援事業

山形市における園芸農業の産出額の拡大、地域を牽引する競争力の高い経営体の育成、消費者や実需者のニーズに沿った生産流通形態の拡大を図るため、園芸品目の栽培施設整備に対し助成を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費 | 県補助 | 市補助 |
|---------------|---|--------------|--------------|-------------|
| 山形農業協同組合 | シャインマスカット団地スピードスプレーヤー | 千円 5,651 | 千円 2,397 | 千円 770 |
| 山形農業協同組合 | 桃団地防風ネット | 千円 17,400 | 千円 8,120 | 千円 2,610 |
| シャインマスカット研究会 | シャインマスカット栽培用ハウス13連棟*2区画、14連棟*1区画、8連棟*1区画、乗用草刈機、スピードスプレーヤー | 千円 25,890 | 千円 12,082 | 千円 3,452 |
| 山形農業協同組合 | 選果場休憩所 | 千円 4,664 | 千円 1,413 | 千円 353 |
| 莓一会組合 | 補強型パイプハウス2棟、かん水設備、暖房機、夜冷機、遮光資材 | 千円 12,144 | 千円 3,565 | 千円 891 |
| やまがたハウス園芸研究会 | 補強型パイプハウス4棟 | 千円 12,083 | 千円 3,475 | 千円 868 |
| 明治省エネルギー園芸研究会 | 補強型パイプハウス1棟、接木ロボット | 千円 10,124 | 千円 3,042 | 千円 760 |

カ りんご黒星病緊急特別対策事業

りんご黒星病の被害軽減に向け、山形県害虫防除基準に新たに追加された防除技術の早期定着を図るため、薬剤による防除の実施について助成を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費 | 県補助 | 市補助 |
|--------------|---------|-------------|---------|-----------|
| 市内農業者団体（3団体） | 薬剤による防除 | 千円 1,143 | 千円 — | 千円 477 |

キ モモせん孔細菌病緊急特別対策事業

モモせん孔細菌病の被害軽減に向け、山形県病害虫防除基準に基づいた防除技術の徹底を図るため、薬剤による防除の実施について助成を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費 | 県補助 | 市補助 |
|------------------|---------|-----------|---------|-----------|
| 市内農業者団体 (1団体) | 薬剤による防除 | 千円 656 | 千円 - | 千円 180 |

ク 強い農業・担い手づくり総合支援交付金

農畜産物の高品質・高付加価値化、低コスト化及び食品流通の合理化等地域における生産・経営から流通・消費までの対策を総合的に推進する取組みについて助成を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費 | 国補助 | 県補助 | 市補助 |
|----------|------------|---------------|---------------|---------|---------|
| 山形農業協同組合 | 広域選果場選果機導入 | 千円 290,000 | 千円 145,000 | 千円 - | 千円 - |

③ 環境保全型農業生産基盤確立事業

環境保全型農業確立支援事業

土づくり技術、化学肥料低減技術等の「持続性の高い農業生産方式」を実践する農業者を支援し、環境保全型農業の推進を図った。

| 事業実施主体 | 受益戸数 | 事業内容 | 事業費 | 県補助 | 市補助 |
|------------------|------|----------------------|-----------|-----|-----------|
| JAやまがた中央菊部会 | 6戸 | フェロモントラップ(35a分)の導入 | 千円 45 | - | 千円 20 |
| 中央環境保全型農業推進協議会 | 5戸 | 防虫ネット、光防虫ライトの導入(30a) | 千円 310 | - | 千円 140 |
| 西部営農センター花き部会ダリア部 | 1戸 | 光防虫器の導入(15a) | 千円 80 | - | 千円 40 |

(3) 畜産

① 方針

本市の畜産は、野菜、果樹、米等とともに農業の主要部門の一つとして振興が図られており、酪農・肉牛・養豚・養鶏が、米や野菜などとの複合経営で営まれている。

平成13年9月に牛海綿状脳症(BSE)の牛が国内で初めて発見されたことをきっかけとして、家畜個体識別システム(耳標装着による生産情報管理)などにより消費者の信頼を回復するための情報提供に努め、安全・安心でおいしい牛肉など畜産物の供給を図る。

あわせて、各関係機関団体と密接な連携のもと、家畜衛生の向上改善と家畜防疫対策を推進するとともに、家畜・畜舎の衛生管理を十分に行う。

受精卵移植等により優良家畜生産を推進し、経営の安定を図るとともに、畜産ヘルパー制度によりゆとりある畜産経営と後継者の育成を図る。さらに「家畜排せつ物管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づき、家畜排せつ物の堆肥化と有効利用を積極的に推進するとともに畜産環境保全整備につとめ畜産の安定的発展を図る。

家畜頭羽数(令和3年2月現在)

(単位:頭、羽)

| 乳用牛 | | 肉用牛 | | 豚 | | 鶏 | | めん羊 |
|----------|-----------|-----|-------|----|----|-------|-------|-----|
| 成牛(2才以上) | 育成牛(2才未満) | 繁殖 | 肥育 | 繁殖 | 肥育 | ブロイラー | 採卵 | |
| 160 | 48 | 20 | 1,213 | 19 | 80 | 16 | 1,073 | 110 |

② 畜産物生産振興対策事業

(山形市農政課調べ)

ア 家畜防疫対策事業

家畜の伝染病の予防を図るため、畜産団体が実施する予防注射と法定検査費用の一部を助成した。

・補助金額 130千円

イ 肉用牛生産振興対策事業

肉用牛の生産振興と経営の安定を図るため、山形農協の肉用牛長期平均払事業及び肉用牛経営安定支援事業に対して利子の一部を助成した。

(単位:千円)

| 年度 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|----|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|
| 金額 | 1,150 | 1,100 | 1,094 | 1,083 | 792 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 616 | 487 | 641 |

ウ 山形市酪農まつり開催事業

消費者との交流により牛乳・乳製品の消費拡大を図るために「第22回山形市酪農まつり」を山形市農畜産物フェスティバル会場(県民広場)において開催した。



- ・開催期日 令和2年10月17日(土) 参加者 約450人
- ・市負担金 225千円

エ 山形市食肉まつり開催事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、一般市民に対しての食肉知識の啓発及び地場産牛肉の消費拡大を目的とした「お家で食肉まつり」を開催した。

- ・チケット販売日 令和2年8月15日(日)
- ・山形牛牛肉引換え日 令和2年9月11日(金)12日(土)
- ・市負担金 1,000千円

オ 優良家畜生産推進事業

・種母豚導入推進事業

品種の統一と養豚農家の経営安定を図るため、導入費の一部を助成した。

種雌豚 3頭 補助金額 105千円

・乳牛改良人工授精推進事業

優良精液を使った人工授精により乳質改善と酪農家の経営安定を図るため、導入費の一部を助成した。

導入本数 50本 補助金額 234千円

カ 肉用牛肥育経営安定対策事業

と畜料金の増額により肉用牛肥育経営農家の負担が増加したことから、と畜料金の増額分の一部を助成した。

事業主体 山形農業協同組合、有限会社蔵王ファーム

導入頭数 701頭 補助金額 789千円

キ 畜産経営競争力強化支援事業

畜産の産出額の増大、経営の安定、生産の維持拡大及びブランド化を推進し、経営の競争力強化を図るため、意欲ある畜産経営体を実施する規模拡大及び生産性の向上の取組みに対し助成を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費 | 県補助 | 市補助 |
|----------|---------------------|--------------|-------------|-------------|
| 株式会社石山牧場 | 場内通路整備工事 給水ライン工事 | 千円 14,244 | 千円 5,395 | 千円 1,079 |

③ 畜産経営安定対策事業

年中無休の畜産農家が、定期休暇の取得により、心身のリフレッシュとゆとりある畜産経営を築くため、山形市畜産振興協議会ヘルパー運営委員会に対し、肉牛・酪農ヘルパー経費の一部を助成した。

実施農家数 12戸 補助金額 2,460千円

(4) 山形市耕作放棄地解消支援事業

市独自に、深耕・整地・営農定着等の再生作業により耕作放棄地を解消し、再生後に耕作を再開する耕作者に補助事業の周知を行った。(令和2年度)

| 件数(件) | 解消面積(ha) | 補助金交付額(円) |
|-------|----------|-----------|
| 1 | 0.3 | 147,700 |

(5) 食育・地産地消の推進

「食」の価値と「農」の重要性への理解増進を図りながら、食育と地産地消をより一体的に推進した。

① 食育・地産地消推進ネットワーク会議の開催

食育・地産地消を市民運動として推進するため、市民団体、行政、関係機関が情報交換を行い意識の高揚を図った。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面開催とした。

② 啓発用広報物の作成

「第2次山形市食育・地産地消推進計画」の推進を図るため、リーフレットを作成した。

③ 食育フェアの開催

食への関心を高めてもらう機会を広く市民に提供し食育の推進を図るため、基調講演、事例発表を内容としたフェアを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、開催を中止した。

④ 山形市食育・地産地消推進協議会運営

生産、流通、消費、教育、保健医療等の関係機関及び団体が構成する協議会において、意見交換、研修会、情報発信を行った。(令和2年度は研修会の実施を見送った。)

⑤ 学校給食での地産地消の推進

ア 米飯学校給食促進事業

学校給食において、米の消費拡大を図るため、米飯給食を実施した。

イ 学校給食地産地消促進・米粉利用推進事業

学校給食において、県産の食材を使用したおかず及び県産ヨーグルト並びに、小麦粉パンに替えて地元産米を使用した米粉パンを提供した。

ウ 給食お話会の開催

市内産の農産物（ミニトマト、にんじん、じゃがいも、芋煮用里芋）が給食に出される日にあわせ生産者が小学校を訪れ、児童達と交流を図った。

エ 芋煮給食用里芋の導入支援

市内産の里芋を芋煮給食に供給するため、県外産との差額補てんを行った。

⑥ 地産地消活動の推進

地産地消料理の講習会や地元開催のイベント等に地元産の農畜産物を提供した。

⑦ 第20回山形市農畜産物フェスティバルの開催

消費者との交流を通して、農業・農畜産物に対する市民の理解を深め、農畜産物の消費拡大を図るため、関係団体の協力を得て開催した。

期 日 令和2年10月17日（土）

場 所 県民ふれあい広場（県立中央病院跡地）

内 容 米まつり、酪農まつり、農畜産物直売、新そばの販売他

主 催 山形市・山形市農業振興協議会

参 加 者 1,151名

※例年実施している試食等飲食を伴う開催内容は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止ため中止した。

(6) 山形市特産農産物消費宣伝イベント開催事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏及び関西圏における消費宣伝イベントは中止とし、需要が減少した花きについて消費拡大を図るため、市産花きの展示及び花束プレゼントキャンペーンを実施した。

・負担金 500千円

(7) 農産物等販売促進事業

仙台市、福島市との3市連携により、食品・飲料の専門展示会「スーパーマーケットトレードショー2021」への出展を通じ、農産物の販路拡大を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため参加を見送った。

期 日 令和3年2月17日（水）～19日（金）

場 所 千葉県幕張メッセ

(8) グリーン・ツーリズムの振興

観光農園、直売所、農家レストラン、体験農場を中心とした観光農業の推進を図るため、「山形市グリーン・ツーリズム振興協議会」において、会員マップの作成などによるPR活動を行った。

(9) 地産地消の店認定事業

地元の農産物を食材として活用する飲食店、旅館、ホテルを「山形市地産地消の店」として認定した。令和2年度は、新規9店舗、更新19店舗を認定し、認定証やPR用のぼりを作成、配布するとともに、店舗情報を掲載したガイドブックを作成した。

(10) 花笠まつり用スゲ栽培実証圃設置事業

「山形花笠まつり」用の菅笠を確保する体制の整備について検討した。

① スゲ栽培実証展示圃の設置

山形市内におけるスゲの栽培技術の確立を図るため、実証展示圃を設置した。

② 花笠確保対策連絡会の開催

菅笠を山形市独自に確保する仕組みについて、関係者による連絡会を開催し検討した。

(11) 6次産業化促進支援事業

農業者の6次産業化への関心や意欲を高め、地域資源を活用した商品開発や地場産品の販売促進を行うなどの取り組みに対し支援した。

① やまがた6次産業学習塾の開催

6次産業化にかかる知識の習得や経営能力の向上を図るため、農畜産物の加工・販売等の総合産業化や経営戦略の構築等について学ぶ研修会を開催した。

内 容 セミナー、現地視察

参加者 12名

② 6次産業化ビジネスチャレンジ支援事業

農業者等の6次産業化を図るため、自家生産物を活用した新たな加工品等の開発に対し支援した。

事業実施主体 1法人

補助金額 250千円



(12) 山形市農業振興公社業務

本市の農業振興の推進のため、農業振興部門では各種研修事業、青果部門では青果物価格安定事業、事業部門では農作業受託事業及び農作業支援のために農業サポート事業、市全域における水田の無人ヘリコプターによる航空防除事業並びに無人ヘリコプターオペレーター養成事業、そばの刈取り受託事業、耕作放棄地対応のために草刈作業等を実施した。

また、施設部門では農業研修センターの管理運営及び西蔵王放牧場の管理業務を実施した。

出資金 40千円（市 20千円、農協 20千円）
会費 4,465千円（市 3,419千円、農協 1,046千円）

① 農業振興部門

農業従事者をはじめ一般市民に対しての農業研修と体験の場として、また農業者同士や消費者との意見交換の場として、農業研修センターを多目的に利活用し研修事業等を実施した。

ア 農業サポーター養成講座 農業サポーターを養成するため、5月～12月まで17回開催

イ 漬物講座 山形伝統の青菜漬けとおみ漬けの実演・実習 1回

ウ 手作り味噌講座 蟹沢でおいしい麹たっぷり18割・手作り味噌 2回

エ 野菜づくり講座 2回

オ 「地元野菜と果実の魅力を学ぼう」講座 野菜ソムリエ上級プロから学ぶ地元野菜の魅力 1回

カ 農業気象講演会 「今年の天候予測と農業について」 1回

キ 訳あり長ネギ収穫体験会 1回

② 青果部門

野菜の価格安定事業として、県青果物生産出荷安定基金協会が行っている品目以外の主要12品目（五月菜、セルリー、せり、ししとう、かぼちゃ、キャベツ、せいさい、はくさい、ほうれん草、みず菜、チンゲン菜、小なす）を対象に、あらかじめ設定した対象市場に出荷した平均販売価格が、山形市地方卸売市場における過去5年間の取引価格を保証基準とした価格から下回ったとき（基金果実と生産者補給金負担金及び市からの生産者補給金支援事業補助金を合わせた額を原資として）その差額単価に出荷販売数量を乗じて得た額の10分の8以内の額を予算の範囲内において生産者補給金を交付した。

出荷計画数量 795.5 t
出荷実績数量 406.5 t
対象数量 403.3 t
補給金交付額 1,208千円

・交付金額の多い主な品名と交付額

ほうれん草 305千円 はくさい 287千円 ししとう 251千円

③ 事業部門

ア 農作業受託事業

農業者等からの委託を受け、水稲の主な農作業（耕うん、代かき、田植え、稲刈りなど）、そば刈取り等を実施した。

受託金額 7,064千円 受託面積 43.2ha

イ 無人ヘリコプターによる航空防除事業

市航空防除協議会及び各地区防除組合並びに関係機関と緊密な連携のもと、無人ヘリコプターオペレーターの協力得ながら、ヘリコプター9機で防除作業を実施した。

ウ 無人ヘリコプター技術研修と資格取得研修事業

無人ヘリコプターによる航空防除にあたっては、オペレーターの協力と養成が極めて重要でかつ必須であるので、オペレーターの技術研修会及び安全飛行講習会等を実施した。

現在の資格取得者は37名である。

④ 施設部門

ア 山形市農業研修センター管理運営業務

農業研修センターの管理運営業務の実施と農業関係者及び一般市民に対しても開放し、研修会、学習会及び交流会等への利用拡大に努めた。

イ 山形市西蔵王放牧場管理業務

市からの委託を受け、4月3日から11月30日まで放牧場の草地管理や放牧牛の適正な育成管理及び施設の維持管理業務を行った。放牧期間：5月8日～10月30日

(13) 市民農園運営事業

市民の健全な余暇活動を推進し、生産と消費に対する理解の増進を図るため、山形市農業協同組合と山形農業協同組合の協力を得て、農家が開設した農園を「山形市市民農園」として登録した。

・10農園 233区画

(14) 小規模農家支援事業

① 農業機械共同利用支援事業

農業者の減少と高齢化が進む中で、地域農業の重要な役割を担う小規模農家2戸以上で組織する共同体に対して、農業生産施設の整備及び農業機械の導入に対して助成し、経済的な負担軽減を図り、農地保全と農業振興を図った。

| 事業内容 | 件数 | 事業費（千円） | 市補助金 |
|-------------|----|---------|-------|
| 水稲用機械 | - | - | - |
| 園芸作物用機械及び施設 | 8 | 7,190 | 1,587 |
| 計 | 8 | 7,190 | 1,587 |

② 農地利用促進事業

耕作放棄地の増加を防ぐため、農地中間管理機構においてマッチングされない小区画等の農地において、利用権が成立した際、受け手に対して補助を行った。

- ・対象農地面積 549a
- ・補助金額 549千円

4 市有農業施設

(1) 山形市西藏王放牧場（昭和46年開設）

- ① 所在地 山形市大字土坂515番地
- ② 面積 81.4ha（うち草地48ha）
- ③ 施設の概要 看視舎、病畜舎、避難舎、乾草収納舎、キャトルシャワー、大農具、雑用水施設、その他管理機器
- ④ 利用実績

| 令和2年度 | 放牧頭数 | 期間 | 日数 | 延頭数 |
|-------|------|-----------|------|--------|
| | 15頭 | 5/8～10/30 | 176日 | 2,548頭 |

(2) 山形市農業研修センター（昭和59年開設）

- ① 所在地 山形市東古館145番地
- ② 施設の概要
 - ア 敷地 10,000㎡
 - イ 建物 1,146.68㎡
 - ウ 研修室、会議室（兼宿泊室）、視聴覚室、講堂兼体育館、食堂、事務室、浴室、管理人室、実験室
 - エ 附帯施設 屋外運動場 3,250㎡ 駐車場 100台収容
- ③ 管理 （一社）山形市農業振興公社
- ④ 利用実績

| 令和2年度 | 件数 | 延人数 |
|-------|-------|--------|
| | 1,767 | 7,683人 |



5 農業金融

(1) 農業制度資金貸付状況（令和2年度貸付承認状況）

| 資金の種類 | 件数 | 貸付承認額 |
|---------------------|----|----------|
| 農業近代化資金 | 3件 | 14,180千円 |
| 農業経営基盤強化資金（スーパーL資金） | 1件 | 8,000千円 |

(2) 農業金融利子補給状況（令和2年度）

| 資金の種類 | 利子補給額 | 摘要 |
|------------------------|-------|---------------------|
| 農業経営基盤強化資金（スーパーL資金） | 64千円 | 利息額の117/217～150/250 |
| 山形市農業後継者及び認定農業者育成支援貸付金 | 14千円 | 利子補給率 1.0% |
| 山形市農林業天災対策資金 | 4千円 | 利子補給率 0.85% |

農 業 農 村 整 備 (農村整備課)

1 水田畑地化基盤強化対策事業

水田の畑地化を推進し、転作の定着化と生産性の向上を図るための、基盤整備(暗渠排水等)事業に対し補助を行った。

| 地区名 | 事業主体 | 事業量(ha) | 事業費(千円) | 市補助額(千円) | 負担割合 |
|------|-----------------------|---------|---------|----------|-------------------------|
| 西中野 | 山形農業協同組合 | 1.2 | 28,500 | 5,700 | 国 50% 県 30% 市 20% |
| 村木沢8 | 農事組合法人 村木沢あじさい営農組合 | 2.8 | 19,000 | 3,800 | 国 50% 県 30% 市 20% |

2 団体営土地改良事業

(1) 団体営土地改良事業

農作物の効率化を図るため、土地改良施設の改修事業に取り組んだ農業団体に補助を行った。

| 事業別 | 件数 | 事業費(千円) | 市補助額(千円) | 摘要 |
|--------|----|---------|----------|-----------------------|
| 土地改良事業 | 16 | 52,539 | 10,441 | かんがい排水12件、農道3件、土砂浚渫1件 |

(2) 災害復旧事業

令和元年10月12日の台風19号による災害復旧事業に対し補助を行った。(令和元年度明許繰越)

| 事業別 | 件数 | 事業費(千円) | 市補助額(千円) | 摘要 |
|--------|----|---------|----------|--------------|
| 災害復旧事業 | 18 | 16,262 | 10,594 | 農地9件、農業用施設9件 |

令和2年2月27日～29日発生豪雨による災害復旧事業に対し補助を行った。

| 事業別 | 件数 | 事業費(千円) | 市補助額(千円) | 摘要 |
|--------|----|---------|----------|----------------|
| 災害復旧事業 | 91 | 74,555 | 43,118 | 農地40件、農業用施設51件 |

3 土地改良施設改修事業

安心安全な飲雑用水を供給するため、営農飲雑用水施設の改修工事を行った。また、農業用用水路の改修等を行った。

| 工種 | 件数 | 事業費(千円) | 摘要 |
|------|----|---------|----------------------|
| 施設補修 | 11 | 15,569 | 営農飲雑用水施設修繕、農業用用水路改修等 |

4 多面的機能発揮促進事業

(1) 多面的機能支払交付金

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等で組織し実施する農用地、水路等の基礎的な保全管理(農地維持支払)と地域資源の質的向上を図る共同活動(資源向上支払(共同活動))、施設の長寿命化のための活動(資源向上支払(長寿命化))に対する支援を行った。

① 農地維持支払

| 事業主体 | 支援金交付対象農用地面積(ha) | | | 支援交付金(円) | | | |
|--------|------------------|-----|-------|------------|------------|------------|------------|
| | 田 | 畑 | 計 | 国負担額(1/2) | 県負担額(1/4) | 市負担額(1/4) | 合計 |
| 37活動組織 | 2,596 | 320 | 2,916 | 42,133,300 | 21,066,650 | 21,066,650 | 84,266,600 |

② 資源向上支払(共同活動)

| 事業主体 | 支援金交付対象農用地面積(ha) | | | 支援交付金(円) | | | |
|--------|------------------|-----|-------|------------|------------|------------|------------|
| | 田 | 畑 | 計 | 国負担額(1/2) | 県負担額(1/4) | 市負担額(1/4) | 合計 |
| 25活動組織 | 2,022 | 291 | 2,313 | 22,813,302 | 11,406,649 | 11,406,653 | 45,626,604 |

③ 資源向上支払(長寿命化)

| 事業主体 | 支援金交付対象農用地面積(ha) | | | 支援交付金(円) | | | |
|--------|------------------|-----|-------|------------|------------|------------|------------|
| | 田 | 畑 | 計 | 国負担額(1/2) | 県負担額(1/4) | 市負担額(1/4) | 合計 |
| 32活動組織 | 2,486 | 290 | 2,776 | 44,600,908 | 22,300,453 | 22,300,483 | 89,201,844 |

(2) 中山間地域等直接支払交付金

中山間地域における耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図る取り組みに対する支援を行った。

| 事業主体 | 支援金交付対象農用地 面積 (ha) | | | 支援交付金 (円) | | | |
|---------|-----------------------|---|------|-----------|-----------|-----------|------------|
| | 田 | 畑 | 計 | 国負担額 | 県負担額 | 市負担額 | 合計 |
| 12 集落協定 | 95.5 | — | 95.5 | 7,047,724 | 6,907,475 | 6,907,476 | 20,862,675 |

5 五堰整備事業

山形五堰において農業用水を安定通水させるため、水路に堆積した土砂上げ、老朽化した石積水路の改修及び親水広場の改修を行った。

- (1) 土砂上げ 4カ所 996千円
- (2) 石積水路等の改修 3カ所 975千円
- (3) 御殿堰中央親水広場改修 1,932千円

6 農業集落排水事業

排水処理基本構想に基づき整備した8地区の農業集落排水処理施設の適切な運営管理を行うため、使用料賦課徴収業務、施設の運転管理委託、修繕工事等を行った。

(1) 事業の全体概要

- ① 処理区及び集落数 8処理区 18集落
- ② 現況戸数及び人口 1,340戸 4,041人
- ③ 使用料(月額) 一世帯当たり：1,180円 一人当たり：380円 に消費税加算(平成10年4月より)
- ④ 利用組合の協力 事業実施地区毎に、地元の施設利用組合を組織し、利用推進のための啓発や処理施設の環境整備をはじめ、管路の点検等についても協力を得ている。

(2) 事業の実施状況

(令和3年3月末現在)

| 処理区(集落) | 事業期間 | 総事業費 (事務費含) (千円) | 供用開始 | 定住数 | 利用数 | 利用率(%) |
|---------------------------------------|----------------|------------------------|---------------|----------------|----------------|----------------|
| | | | | 戸数 人口 | 戸数 人口 | 戸数 人口 |
| 宝沢(上・下宝沢) 870人 L=5,744.0m | 昭和62～ 平成元年度 | 503,990 | 平成2年 4月1日 | 223 665 | 222 664 | 99.6 99.8 |
| 中里(中里・二本堂・風間) 940人 L=3,420.9m | 平成2～ 5年度 | 735,345 | 平成5年 11月1日 | 193 649 | 189 641 | 97.9 98.8 |
| 藤沢(常明寺・若木) 580人 L=3,500.6m | 平成3～ 7年度 | 651,869 | 平成7年 5月1日 | 130 508 | 129 504 | 99.2 99.2 |
| 上野(蔵王上野・堀田) 1,700人 L=11,930.9m | 平成4～ 8年度 | 1,556,087 | 平成8年 5月1日 | 236 927 | 218 889 | 92.4 95.9 |
| 双葉(七ツ松・荻の窪・礪石) 410人 L=5,452.6m | 平成7～ 9年度 | 751,260 | 平成10年 4月1日 | 68 143 | 66 141 | 97.1 98.6 |
| 漆房(漆房) 230人 L=2,117.9m | 平成9～ 11年度 | 366,381 | 平成12年 4月1日 | 49 165 | 49 165 | 100.0 100.0 |
| 山田(蔵王山田) 240人 L=1,950.0m | 平成10～ 12年度 | 405,273 | 平成13年 4月1日 | 50 119 | 45 107 | 90.0 89.9 |
| 東山(上・下東山・切畑・高沢) 2,390人 L=16,060.0m | 平成8～ 15年度 | 2,081,460 | 平成15年 4月1日 | 502 1,529 | 442 1,375 | 88.0 89.9 |
| 計 | | 7,051,665 | | 1,451 4,705 | 1,360 4,486 | 93.7 95.3 |

※定住数、利用数には流入(換算)数を含む。

(3) 農業集落排水処理施設機能診断・最適整備構想策定事業

- ① 農業集落排水処理施設機能診断業務
農業集落排水処理施設の劣化状況を調査した。 14,025千円
- ② 農業集落排水処理施設最適整備構想策定業務
機能診断の結果に基づき、施設機能を保全するために必要な対策方法を定めた構想を策定した。 10,010千円



7 地籍調査事業

(1) 事業目的

現在、登記所に備え付けられている公図の多くは、土地の境界が不明確であったり、測量の精度が一定でないこと等により、実際の土地と土地登記簿の内容が正確に合っていないことが少なくない。

本事業は、これらを解消するため、国土調査法に基づき一筆ごとの土地について、その所有者・地番・地目・境界を調査し、面積について測量を行い、その結果を基に、現地に合った新しい地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成し、公図や土地登記簿を整備するものである。

(2) 事業計画

- ①調査面積 239.46km²（全体面積の約63%）
- ②調査期間 24年間の予定（平成18年度～令和11年度）
- ③負担割合 国：50% 県：25% 市：25%

(3) 令和2年度実績

| 調査地区 | 実施内容 | 調査面積 | 筆数 | 所有者数 | 事業費(千円) |
|------------------|---------------------------|---------------------|--------|--------|---------|
| 十文字、飯塚町、下楯沢、志戸田等 | 令和2年度 一筆地調査（立会調査） | 0.83km ² | 3,018筆 | 797人 | 56,420 |
| 漆山、青柳、十文字、飯塚町等 | 令和元年度調査分 地籍図・地籍簿の作成・閲覧 | 1.10km ² | 3,870筆 | 1,427人 | |
| 漆山、青柳、沼木、飯塚町等 | 平成29,30年度調査分 認証請求 | 3.32km ² | 4,559筆 | 1,377人 | |

8 スtockマネジメント事業

農業水利施設の長寿命化を図るための改修事業に対する負担金の支出及び補助を行った。

| 地区名 | 関係土地改良区等 | 事業内容 | 事業費(千円) | 市負担額(千円) | 負担割合 |
|-------|----------------|----------------|---------|----------|---|
| 最上川中流 | 最上川中流 土地改良区 | 頭首工補修 用水路補修 | 56,000 | 4,986 | 国 50% 県 25% 市 10% (内山形市89.02%) 地元 15% |
| 南山形 | 最上川中流 土地改良区 | 排水路工 | 100,000 | 14,000 | 国 55% 県 31% 市 14% |

9 有害鳥獣等食害対策事業

有害鳥獣による農作物の被害防止のため、防護網の支給、防護柵設置、駆除を実施する団体への助成等を行い、農作物の安定生産を図った。

(1) カモシカ食害防護網設置事業

特別天然記念物であるカモシカによる農作物の食害防止のため、防護網の設置を行った。

| 事業実施主体 | 受益戸数 受益面積 | 事業内容 | 事業費 (千円) | 負担区分(千円) | | |
|---------------------|--------------|---------------------------|-------------|----------|------|------|
| | | | | 国補助額 | 県補助額 | 市補助額 |
| 山形地区カモシカ 対策連絡協議会 | 41戸 4.5ha | 食害防止用網の支給 6.50km分、130巻 | 2,053 | 1,369 | — | 684 |

(2) 農作物有害鳥獣対策事業

有害鳥獣被害防止のための設備導入を行う個人に対し助成した。

| 事業実施主体 | 受益戸数 | 事業内容 | 事業費 (千円) | 県補助額 (千円) | 市補助額 (千円) |
|---------|----------|--------------------------|-------------|--------------|--------------|
| 農業者（個人） | 設備導入 20戸 | クマ・イノシシ・サル被害防止電 気柵の導入 | 3,725 | 922 | 922 |

(3) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会事業

ニホンザルによる農作物被害を軽減するため、宮城・福島・山形県に跨る広域地域を拠点とする関係機関で構成される広域協議会に加盟し、効果的かつ効率的な被害防止対策の実践、被害防止体制の充実・強化を図った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費(千円) |
|-----------------|--|---------|
| 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ニホンザル用テレメトリ受発信機の導入 ・ニホンザル用GPSシステムの導入 ・生息状況調査 ・捕獲用檻の購入 ・追い払い活動 | 9,259 |

(4) 山形市有害鳥獣被害防止対策協議会事業

有害鳥獣（イノシシ、クマ等）による農作物被害を軽減するため、鳥獣被害対策実施隊による捕獲による個体数調整活動や捕獲に伴う報奨金、狩猟免許の新規取得支援に対して助成を行った。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費(千円) |
|------------------|--|---------|
| 山形市有害鳥獣被害防止対策協議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・農作物被害現場確認 ・実施隊による捕獲活動 (ワナの設置、ワナの見回り含む) ・カラス、ムクドリ一斉捕獲 ・狩猟免許新規取得支援 ・追い払い花火の購入 ・捕獲檻、わなの購入 | 26,393 |

(5) 山形猟友会運営費補助金

野生鳥獣による人的被害の恐れがある緊急時に安全かつ迅速に有害鳥獣を捕獲し、被害を防ぐため、山形猟友会員の技術保持活動に対して助成した。

| 事業実施主体 | 事業内容 | 事業費(千円) | 市補助額(千円) |
|--------|-------------------|---------|----------|
| 山形猟友会 | 団体における射撃訓練等にあたる活動 | 839 | 500 |



林

業（森林整備課）

1 民有林振興対策

森林所有者の高齢化・不在村化等により適切な森林整備が行われていない箇所が増加しているなか、近年、森林の有する多面的機能の持続的な発揮や、地球温暖化防止対策における二酸化炭素の吸収・固定源として、森林の果たす役割に期待が高まっている。

本市においても人工林の約半数を占める林分が標準伐期に達しており利用可能な林分構成となっていることから、育てる森林から利用する森林への転換を図り、間伐の促進や森林資源の有効活用など、森林・林業再生に向けた取り組みを推進していく。

(1) 森林経営管理推進事業

新たな森林経営管理制度の創設に伴い、その財源として国から森林環境譲与税が譲与されたため、森林経営管理推進基金を創設し森林整備及びその促進にかかる事業に取り組んでいく。

令和2年度は、モデル地区（上宝沢不動沢流域）において、前年度に実施した森林経営管理の意向調査結果を基に、森林所有者より「所有山林を市に経営や管理を委ねることについて検討してみたい」と回答のあった林地のうち、市が経営管理権を設定しようとする区域について、森林境界の確認を実施した後、森林所有者の同意の上経営管理権集積計画を作成した。

| 事業内容 | 事業量 | 事業費 |
|-------------|------|---------|
| 境界確認測量 | 36ha | 2,805千円 |
| 経営管理権集積計画作成 | 28ha | 999千円 |
| 計 | | 3,804千円 |

(2) 民有林間伐等促進事業費補助金

森林組合が森林経営計画に基づき施業の集約化を行い、国庫補助事業で間伐等を実施した事業費に対し市独自の嵩上げ補助を行い、民有林内における間伐等の森林施業促進を図った。

令和2年度実績

| 施業箇所 | 間伐(ha) | 森林作業道(m) | 補助金額(千円) |
|-------|--------|----------|----------|
| 大字門伝 | 5.46 | 3,030 | 1,835 |
| 大字平清水 | 3.17 | 1,000 | 1,102 |
| 計 | 8.63 | 4,030 | 2,937 |

(3) 美しい森林(もり)づくり基盤整備事業

「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」に基づく、持続的な森林経営の確立と森林・林業の再生を図り、森林吸収目標の3.5%を達成するため、各地区に間伐推進員18名を配置し民有林の間伐を促進した。

2 地域林業振興対策

林業関係団体・関係者の活動拠点である「山形森林総合センター」の運営費について1,000千円を補助し、林業の担い手の育成を図った。また、山形市内の9の生産森林組合で組織している山形市生産森林組合連絡協議会に550千円を補助金として交付し、生産森林組合の活動を支援している。

3 林野保護対策

(1) 普通共用林野事業

「国有林野の管理経営に関する法律」第18条により、市民が国有林野内で山菜等を採取できるように、市と森林管理署が市域東部の国有林について契約を締結している。(契約期間：令和2年度から6年度の5年間)

市では「山形市普通共用林野の運営に関する条例」を制定し、これに基づき、関係地区住民1,767戸に対し共用者証を交付し、これ以外の市民には一地区（山寺、高瀬、東沢、滝山、蔵王）500円（1年間）の入林許可証交付手数料を徴し許可を与え、利用の場として開放している。

(2) 山火事防止

森林等における火災の未然防止のため、特に春の乾燥期に山菜採取者など入山者に対して、山火事防止について周知を図り、森林火災の防止に努めている。

また、森林等の火入れをする場合の措置として昭和59年9月に「森林等の火入れに関する条例及び規則」を制定しており、生産森林組合、その他林業団体等に周知し、山火事防止に努めている。

(3) 森林病虫害等防除事業

① 松くい虫被害対策

昭和53年12月に山形市小白川地内向山、沼の辺盃山等、周辺の山林において、マツノザイセンチュウによるアカマツの被害木が発見された。昭和54年度より被害拡大防止を図るため、高度公益機能松林等で構成される防除団地内の被害木を伐倒、玉切りしたものをビニールで被覆し、殺虫剤を注入して駆除している。また、景勝地である山寺立石寺周辺の健全木に松枯れ防止薬剤を樹幹注入し、松枯れを予防している。さらに、登山に支障となる枯損木を伐倒処理している。

令和2年度実績

| 区 分 | 施業箇所 | 本 数(本) | 材 積(m ³) | 事業費(千円) |
|---------------|---------|--------|----------------------|---------|
| 伐倒・くん蒸処理(衛生伐) | 大字山寺 | 8 | 10 | 3,850 |
| | 大字大森 | 135 | 47 | |
| | 大字平清水 | 38 | 19 | |
| | 大字岩波 | 23 | 16 | |
| | 蔵王成沢 | 10 | 12 | |
| | 大字釈迦堂 | 3 | 6 | |
| | 大字小白川 | 146 | 54 | |
| | 計 | 264 | 164 | |
| 樹 幹 注 入 | 山寺(立石寺) | 79 | — | 540 |
| 枯 損 木 伐 倒 | 大字釈迦堂 | 6 | — | 689 |
| | 大字滑川 | 2 | | |
| | 大字村木沢 | 1 | | |
| | 計 | 9 | | |

② ナラ枯れ被害対策

公共性が高く、特に保全すべきナラ林を特定ナラ林として、面白山、山寺、蔵王温泉地区を指定している。令和2年度は、山寺、蔵王温泉地区において、被害拡大防止のため予防剤注入による防除を行った。

令和2年度実績

| 区 分 | 施業箇所 | ナラ本数(本) | 事業費(千円) |
|-------|------|---------|---------|
| 予防剤注入 | 大字山寺 | 240 | 675 |
| | 蔵王温泉 | 101 | 363 |
| | 計 | 341 | 1,038 |

4 緑化推進対策

(1) 緑の募金運動

全国的な国土緑化運動の一環として、緑の募金運動を実施し、市民一般の緑に対する理解と認識を高め、合わせてその成果によって緑化の推進と森林の整備等を行い、住みよい生活環境づくりを図っている。

令和2年度 募 金 額 1,407,579円 強化期間 令和2年4月15日～令和2年5月14日

(2) 緑の少年団育成事業

昭和50年10月山形県緑の少年団の結成と同時に、山形市緑の少年団も結成、さらに山形市緑の少年団運営協議会を発足し、事業運営にあたっている。

令和2年度の団員は、山形市立東沢小学校・蔵王第三小学校・みはらしの丘小学校・西山形小学校、山形県立山形養護学校で、5団体、計272名となった。市植樹祭への参加や校内緑化推進活動、自然環境学習等の活動を行った。

5 林 道 事 業

林道(路網)は、木材を森林から製材工場までの搬出や、間伐、枝打ち等、林業生産活動を効率的に行うための基盤であり、森林の多面的機能を持続的に発揮していくために必要不可欠な施設である。また、森林の総合利用の推進、山村の生活環境整備、地域産業の振興等にとっても重要な役割を果たしていることから、新規林道等の開設、既設林道等の改良、補修、維持管理等の事業に取り組んでいる。

(1) 民有林林道整備事業

国庫補助事業で林業専用道の整備を実施した。また、新規林業専用道の開設に向けた測量設計業務を実施した。

① (継続) 林業専用道仁田ノ沢三号線(延長L=2,380m 幅員W=3.5m)

令和2年度実績

| 実施箇所 | 事業内容 | 事業費(千円) |
|------|----------|---------|
| 大字柏倉 | 工事L=627m | 37,259 |

② (新規) 林業専用道王地向線(延長L=1,120m 幅員W=3.6m)

令和2年度実績

| 実施箇所 | 事業内容 | 事業費(千円) |
|-------|----------------|---------|
| 大字上宝沢 | 測量設計業務L=1,120m | 8,775 |



(2) 民有林林道橋りょう点検診断・保全整備事業

山形市林道施設長寿命化計画に基づき、国庫補助事業を活用し、設計委託及び修繕工事等を実施した。

令和2年度実績

(設計委託)

| 橋梁名 | 実施箇所 | 事業費(千円) |
|---------|--------|---------|
| 千手院一号橋 | 大字山寺 | 2,365 |
| 林道橋梁点検等 | 大字山寺ほか | 2,683 |
| 計 | | 5,048 |

(修繕工事)

| 橋梁名 | 実施箇所 | 事業費(千円) |
|---------|------|---------|
| 逆倉丸森一号橋 | 大字柏倉 | 11,975 |
| 八森一号橋 | 大字八森 | 7,836 |
| 新田一号橋 | 大字門伝 | 715 |
| 計 | | 20,526 |

(3) 民有林林道管理補修事業

林道、林業専用道等の通行の安全と円滑な走行を図るため、路面整正、路肩表示杭等の安全施設の設置を行うとともに、災害を未然に防止するために、側溝、横断開渠、暗渠の土砂上げ等を実施した。

また、平成20年度から、林道等の維持管理を町内会や生産森林組合など市民が組織する団体と協働で行い、よりきめ細かい管理体制を構築している。

① 機械借上(建設機械の年間単価契約)による路面整備等

令和2年度実績

| 区分 | 路線名 | 事業費(千円) |
|-----------|--------------|---------|
| 林道、森林作業道等 | 大塩沢八森線ほか31路線 | 15,128 |

② 林道補修工事

令和2年度実績

| 区分 | 路線名 | 事業費(千円) |
|-----------|-----------|---------|
| 林道、森林作業道等 | 千手院線ほか9路線 | 7,552 |

③ 里山さわやかロード事業

山形市管理の林道等のうち52路線を対象に、草刈りや側溝の通水確保等の軽微な維持管理を、地域住民と協働で行い、林道被災の早期発見や、林道沿線の環境美化及び森林に対する意識向上に努めた。

[市民の団体の役割]

林道の見回り、路肩の草刈、側溝の通水確保、美化等の軽微な作業

[山形市の役割]

路肩や法面の崩落補修、路面の整備、土砂による水路や暗渠の閉塞解消等、重機を使用する必要がある作業

令和2年度実績

| 実施団体 | 事業費(千円) |
|------|---------|
| 29 | 1,499 |

(4) 林道災害復旧事業

大雨により落橋した林道橋の復旧及び融雪や大雨等による法面・路肩崩落及び路面洗掘等の復旧工事を実施した。

令和2年度実績

(災害復旧工事)

| 路線名 | 実施箇所 | 事業内容 | 事業費(千円) |
|-------------|---------|----------------------------------|---------|
| 舟ヶ沢第一線ほか8路線 | 大字下東山ほか | 橋梁工、大型ふとん竈工、植生シート工、コンクリートブロック積工等 | 45,600 |

(災害復旧測量設計委託)

| 路線名 | 実施箇所 | 事業内容 | 事業費(千円) |
|-------------|---------|---------------------|---------|
| 舟ヶ沢第一線ほか6路線 | 大字下東山ほか | 橋梁設計1基 路線測量、実施設計 | 15,044 |

(機械借上げによる路面整備等)

| 路線名 | 実施箇所 | 事業内容 | 事業費(千円) |
|-------------|--------|-------------------|---------|
| 逆倉丸森線ほか32路線 | 大字柏倉ほか | 路面整正、側溝土砂上げ、法面整形等 | 23,284 |

山形市管内の林道等の現況

(令和3年3月31日現在)

| 管理区分 | 種類 | 路線数 | 延長 (m) | 備考 |
|---------|--------|-----|---------|------------|
| 山形市 | 林道 | 68 | 132,679 | |
| | 併用林道 | 4 | 2,671 | 全延長13,325m |
| | 林業専用道 | 48 | 39,698 | |
| | 高速道路側道 | 30 | 6,464 | |
| | 計 | 150 | 181,512 | |
| 山形森林管理署 | 林道 | 4 | 7,930 | |
| | 併用林道 | 6 | 21,414 | |
| 山形県 | 林道 | 4 | 12,283 | |
| 合計 | | 164 | 223,139 | |

6 治山事業

治山事業は、森林の維持造成を通じて山地に起因する災害から市民の生命・財産を保全し、また、水源のかん養、生活環境の保全・形成等を図る極めて重要な国土保全政策の一つであり、安全で安心できる豊かなくらしの実現を図るものである。

(1) 民有林治山事業（市単独事業）

民有林内において、保全対象戸数や事業費等が県事業の採択基準に合致しない、小規模な土砂流出・山腹崩壊等で緊急性が高く放置できないものについて、市単独で治山工事を実施した。

また、平成21年度から、町内会等市民が組織する団体と協働で溪流の整備を実施し、山地災害の未然防止に努めている。

① 治山工事

令和2年度実績

| 実施箇所 | 事業費(千円) |
|-------|---------|
| 大字下東山 | 1,600 |

② 荒廃溪流整備事業

溪流の荒廃が山地災害の要因のひとつとなっていることから、町内会等と協働で、不安定木や倒木の除去を行い、山地災害の未然防止に努めた。

[市民の団体の役割]

土地所有者との調整、不安定木の伐採・搬出等の除去作業

[山形市の役割]

除去作業のうち、作業が困難な箇所を請負工事により実施

令和2年度実績

| 実施箇所 | 事業費(千円) |
|------|---------|
| 大字若木 | 467 |
| 大字柏倉 | 436 |
| 計 | 903 |

(2) 国・県治山事業

治山事業は、保安施設事業及び保安林等の存する地域における地すべり防止工事等に関する事業で、国が実施するもの及び都道府県又は都道府県知事が実施し、かつ、これに要する費用の一部を国が負担し、又は補助するものと定義されている。

そのため本市では、地元要望等をまとめ、国、県へ事業を要望し、保安林でない森林にあつては、森林所有者から保安林指定同意書と工事承諾書の取りまとめ、その他、工事に係る用地等の確保、地元住民、関係機関との連絡調整等を行い、円滑、迅速な事業遂行に寄与している。

令和2年度実績

| 事業主体 | 事業名 | 地区名 | 工種 | 事業費(千円) |
|-------------|------------------|------|-----------|---------|
| 村山総合支庁森林整備課 | 龍山治山事業 | 蔵王温泉 | 地すべり調査 | 3,167 |
| | 治山施設機能強化・老朽化対策事業 | 山寺ほか | 治山施設点検 | 25,826 |
| 山形森林管理署 | 千歳山治山工事 | 平清水 | 落石防止工 | 58,850 |
| | 蔵王温泉地区災害関連緊急治山工事 | 蔵王温泉 | コンクリート谷止工 | 58,135 |



7 市有林造成管理事業

森林資源の造成と自然環境の保全とともに、本市の基本財産造成を図るため、国庫補助事業等を活用して、市有林の下刈り間伐等の森林施業を行った。

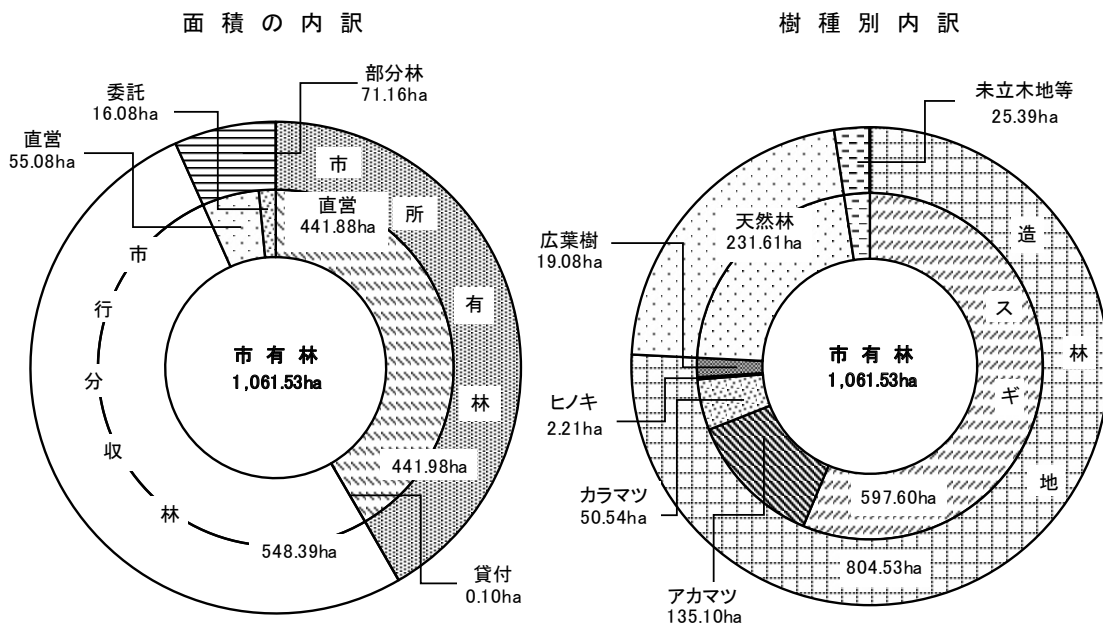
令和2年度事業実績

| 市有林名 | 実施箇所 (大字) | 事業の 種類 | 事業量 | 事業費 (千円) | 素材収入 (千円) |
|---------------|--------------|-----------|--------------------|-------------|--------------|
| 板橋 1933-14 | 山辺町 畑谷 | 新植 | 0.38ha | 451 | 451 |
| | | 調査 | 0.38ha | 132 | |
| | | 立木売払 | 276本 | — | |
| 長峯 233 ㍊ | 神尾 | 下刈り | 2.84ha | 1,259 | — |
| 板橋山 | 門伝 | 下刈り | 1.58ha | 701 | — |
| 伝四郎山 | 上室沢 | 下刈り | 1.68ha | 745 | — |
| ヒトロ | 滑川 | 保育間伐 | 6.89ha | 1,595 | — |
| 丸石田 | 平清水 | 間伐 | 5.34ha | 3,026 | 1,912 |
| | | 作業道 | 746m | 2,378 | |
| | | 集運材 | 100 m ³ | 132 | |
| | | 調査 | 5.34ha | 235 | |
| 八森山 | 滝平 | 境界刈り | 0.59ha | 319 | — |
| ヂンバカ山 | 山寺 | | | | |
| 生膾板倉山 | 若木 | | | | |
| トフカン | 土坂 | | | | |
| 瀬ノ原山 | 高沢 | 材積調査 | 6.49ha | 735 | — |
| 長野 | 山寺 | | | | |
| 下唐松 | 釈迦堂 | | | | |
| 三本木山 | 成沢 | | | | |
| 合 計 | | | | 11,708 | 2,363 |

二口市有林管理小屋の補修工事を実施し、施設の適切な維持管理を行った。

二口市有林管理小屋維持補修工事費 526 千円

山形市有林の面積(令和3年3月31日現在)



8 市産材オリンピックレガシー活用事業

東京2020オリ・パラ大会関連施設である選手村ビレッジプラザ（選手団の入村式の舞台としてメディアを通して多くの人の目に触れる選手村の代表的な施設）の建築用材として提供した市産材が、大会終了後、市に返却される。返却後の市産材を後利用しオリンピックレガシーとしてオブジェを制作するためのデザイン作成を行った。オブジェは西山形コミュニティセンターへの設置が予定されている。

オリンピックレガシーデザイン作成業務委託 500千円

9 里山共生の森整備事業

ニュータウン周辺環境保全林及び西藏王市民の森林(もり)を里山として整備するもので、保健休養・学習の場として市民との共生を図る森林づくりを行っている。

令和2年度実績

| 施業箇所 | 事業の種類 | 数量 | 事業費(千円) |
|---------------|-------|--------|---------|
| ニュータウン周辺環境保全林 | 下刈り | 6.35ha | 1,573 |
| | クズ処理 | 2,500本 | |
| | 整理伐 | 80m | 548 |
| | 管理道補修 | 4本 | |
| 西藏王市民の森林 | 下刈り | 80m | 352 |
| | クズ処理 | 1.21ha | |
| 計 | | | 2,473 |

10 木質バイオマスの需要拡大支援事業

ペレット・薪ストーブ利用拡大支援事業

平成19年度から実施している事業で、環境にやさしいペレットストーブ等を普及推進することにより、木質バイオマスエネルギーの需要拡大と、環境に配慮した暮らしに関する市民意識の高揚を図り、もって地球温暖化防止に寄与することを目的としている。22年度からは薪ストーブ設置も補助対象に加え、森林資源の更なる利活用の推進を図っている。

令和2年度実績

| | | |
|----------|-----|---------|
| ペレットストーブ | 11台 | 1,100千円 |
| 薪ストーブ | 8台 | 800千円 |
| 計 | 19台 | 1,900千円 |

11 やまがた緑環境事業

山形県みどり環境交付金を活用し、自然環境学習等の推進事業、豊かな森づくり活動の推進事業、森林資源の利活用推進事業を実施している。また、里山林整備事業により、人と野生動物が共存できるよう緩衝帯(バッファゾーン)の整備や幹線道路沿いで著しく景観が悪化している森林の景観整備を実施している。

(1) みどり環境交付金事業

令和2年度実績

| 実施事業数 | 事業費(千円) |
|-------|---------|
| 10 | 10,130 |

(2) 荒廃森林緊急整備事業

令和2年度実績

| 事業の種類 | 施業箇所 | 事業量(ha) | 事業費(千円) |
|----------------|-----------|---------|---------|
| 里山林整備(景観整備) | 大字門伝 | 0.12 | 5,852 |
| 里山林整備(バッファゾーン) | 大字下東山、上東山 | 1.45 | 1,420 |
| 計 | | 1.57 | 7,272 |

12 山形市産材利用拡大促進事業

市産材の利用拡大を通じ、森林の適正な整備や木材関連産業の活性化等に資するよう市産材を8㎡以上使用した新築戸建て住宅に対して1戸あたり50万円の補助を行った。移住・定住、子育て支援対策として、移住、子育て、三世帯世帯等で一定量以上の市産材を使用した場合に最大80万円の補助となる加算制度を設けている。

令和2年度実績：補助対象戸数 27戸

※加算枠適用戸数は移住世帯1戸、子育て世帯2戸、三世帯等世帯7戸

補助金額 14,500千円



公 設 地 方 卸 売 市 場

当市場は、昭和50年4月1日に青果物及び水産物を取り扱う山形市中央卸売市場として開設され、生鮮食料品等を安定的かつ効率的に集荷し、市民に供給する基幹的流通機能と公正な取引による適正な価格形成機能を果たし、市民生活に寄与してきた。

なお、さらなる市場の活性化を図るため平成22年4月1日に公設の地方卸売市場に転換したが、引き続き安全安心で新鮮な生鮮食料品を市民に供給していく。

1 施 設 概 要

| | | | |
|------|---------------|---------|------------------------|
| 場 所 | 山形市大字漆山1420番地 | | |
| 用地面積 | 115,634.64㎡ | | |
| 施 設 | 卸 売 場 | 11,833㎡ | (青果 8,314㎡, 水産 3,519㎡) |
| | 仲 卸 売 場 | 3,761㎡ | (青果 1,914㎡, 水産 1,847㎡) |
| | 買荷保管積込所 | 2,096㎡ | (青果 1,336㎡, 水産 760㎡) |
| | 冷 蔵 庫 | 2,556㎡ | (庫内有効面積 1,286㎡) |
| | 倉 庫 | 945㎡ | (青果 687㎡, 水産 258㎡) |
| | 関係業者事務所 | 3,424㎡ | |
| | 関連商品売場 | 2,658㎡ | |
| | 管 理 事 務 所 | 1,395㎡ | |
| | 駐 車 場 | 42,514㎡ | 1,540台収容 |
| 総事業費 | 4,272,550千円 | | |

2 市 場 の 業 者 (令和3年3月31日現在)

| | | | | |
|-------|--------|------|-----|------|
| 卸売業者 | 青果物 | 1社 | 水産物 | 2社 |
| 仲卸業者 | 〃 | 6社 | 〃 | 4社 |
| 売買参加者 | 〃 | 223人 | 〃 | 111人 |
| 買出人 | 〃 | 257人 | 〃 | 350人 |
| 関連事業者 | 19人(社) | | | |

売買参加者及び買出人の登録者数

| | 売 買 参 加 者 | | 買 出 人 | |
|------|-----------|-------|-------|-------|
| | 青 果 物 | 水 産 物 | 青 果 物 | 水 産 物 |
| 山形市 | 84 | 50 | 132 | 164 |
| 山形市外 | 139 | 61 | 125 | 186 |
| 合 計 | 223 | 111 | 257 | 350 |

3 令和2年青果物取扱の概況 (1月～12月)

(1) 青果物の取扱概況

本年の開市日数は254日、総入荷量は28,563,065kgで前年対比は100.3%、総取扱金額は7,709,201,203円で前年対比は105.7%であった。

一日平均入荷量は112,453kgで、最高は11月21日の185,439kg、最低は3月18日の63,543kgであった。

また、一日平均取扱金額は30,351,186円であり、最高は6月29日の91,466,642円、最低は3月18日の14,432,484円であった。

種別入荷量は、野菜が19,688,690kgで前年対比99.7%、果実は8,102,015kgで前年対比102.4%、鳥卵・加工品・その他は772,360kgで前年対比94.2%であった。

また、種別取扱金額については、野菜が4,742,705,967円で前年対比102.5%、果実は2,754,690,443円で前年対比112.5%、鳥卵・加工品・その他は、221,804,793円で前年対比95.6%となっている。

(2) 青果物取扱数量ベスト3

(単位：t、%)

| 順位 | 野菜 | | | 県内産 比率 | 果実 | | | 県内産 比率 |
|----|------|-------|------|-----------|-----|-------|------|-----------|
| | 品名 | 数量 | 比率 | | 品名 | 数量 | 比率 | |
| 1 | キャベツ | 3,341 | 17.0 | 9.7 | みかん | 1,312 | 16.2 | 0.1 |
| 2 | たまねぎ | 2,120 | 10.8 | 1.3 | バナナ | 1,234 | 15.2 | 0.1 |
| 3 | きゅうり | 1,912 | 9.7 | 85.1 | ぶじ | 1,216 | 15.0 | 93.4 |

(3) 青果物取扱金額ベスト3

(単位：百万円、%)

| 順位 | 野菜 | | | 県内産 比率 | 果実 | | | 県内産 比率 |
|----|------|-----|------|-----------|-----|-----|------|-----------|
| | 品名 | 金額 | 比率 | | 品名 | 金額 | 比率 | |
| 1 | きゅうり | 606 | 12.8 | 80.8 | 佐藤錦 | 446 | 16.2 | 100.0 |
| 2 | キャベツ | 315 | 6.7 | 6.8 | みかん | 278 | 10.1 | 0.1 |
| 3 | にんじん | 172 | 3.6 | 0.1 | バナナ | 234 | 8.5 | - |

(4) 青果物入荷産地ベスト3

(単位：%)

| 順位 | 野菜 | | | | 果実 | | | |
|----|-----|------|-----|------|-------|------|-------|------|
| | 数量 | | 金額 | | 数量 | | 金額 | |
| | 産地名 | 比率 | 産地名 | 比率 | 産地名 | 比率 | 産地名 | 比率 |
| 1 | 山形県 | 31.5 | 山形県 | 43.1 | 山形県 | 47.8 | 山形県 | 57.4 |
| 2 | 千葉県 | 15.8 | 茨城県 | 7.5 | フィリピン | 14.3 | フィリピン | 7.6 |
| 3 | 北海道 | 13.7 | 千葉県 | 6.7 | 愛媛県 | 9.5 | 愛媛県 | 6.7 |

(5) kg当りの平均価格

本年の総平均価格は270円で前年対比105.5%、種別ごとにみると野菜は241円で前年対比103.0%、果実は340円で前年対比110.0%、鳥卵・加工品・その他は274円で前年対比101.5%となっている。

4 令和2年水産物取扱の概況（1月～12月）

(1) 水産物の取扱概況

本年の開市日数は257日、総入荷量は3,995,533kgで前年対比は89.7%、総取扱金額は4,400,716,244円で前年対比は87.3%であった。

一日平均入荷量は15,547kgで、最高は12月24日の31,374kg、最低は9月23日の8,274kgであった。

また、一日平均取扱金額は17,123,410円であり、最高は12月24日の48,117,688円、最低は9月23日の8,175,831円であった。

種別入荷量は、鮮魚が1,517,288kgで前年対比83.9%、冷凍魚は552,741kgで前年対比97.8%、塩干・加工品・その他は1,925,504kgで前年対比92.6%であった。

また、種別取扱金額については、鮮魚が1,760,330,832円で前年対比83.6%、冷凍魚は691,798,279円で前年対比89.2%、塩干・加工品・その他は1,948,587,133円で前年対比90.2%となっている。

(2) 水産物取扱数量ベスト3

(単位：t、%)

| 順位 | 鮮魚 | | | 冷凍魚 | | | 塩干・加工品・その他 | | |
|----|--------|-----|-----|-------|----|------|------------|-----|------|
| | 品名 | 数量 | 比率 | 品名 | 数量 | 比率 | 品名 | 数量 | 比率 |
| 1 | めばちまぐろ | 133 | 8.8 | 冷凍えび | 78 | 14.2 | 練り製品 | 292 | 15.2 |
| 2 | するめいか | 86 | 5.7 | 冷凍さけ | 58 | 10.5 | 惣菜品 | 235 | 12.2 |
| 3 | ぶり | 75 | 5.0 | 冷凍かれい | 33 | 6.0 | 塩さけ | 187 | 9.7 |

(3) 水産物取扱金額ベスト3

(単位：百万円、%)

| 順位 | 鮮魚 | | | 冷凍魚 | | | 塩干・加工品・その他 | | |
|----|--------|-----|------|-------|-----|------|------------|-----|------|
| | 品名 | 金額 | 比率 | 品名 | 金額 | 比率 | 品名 | 金額 | 比率 |
| 1 | めばちまぐろ | 196 | 11.1 | 冷凍えび | 125 | 18.1 | 筋子 | 230 | 11.8 |
| 2 | 本まぐろ | 190 | 10.8 | 冷凍さけ | 47 | 6.8 | 塩さけ | 199 | 10.2 |
| 3 | 冷凍まぐろ | 131 | 7.5 | 冷凍かれい | 41 | 5.9 | 珍味 | 192 | 9.8 |

(4) 水産物取扱金額出荷地ベスト3

(単位：百万円、%)

| 順位 | 鮮魚 | | | 冷凍魚 | | | 塩干・加工品・その他 | | |
|----|------|-----|------|------|-----|------|------------|-------|------|
| | 出荷地名 | 金額 | 比率 | 出荷地名 | 金額 | 比率 | 出荷地名 | 金額 | 比率 |
| 1 | 外国産 | 520 | 29.6 | 外国産 | 363 | 52.5 | 外国産 | 1,057 | 54.3 |
| 2 | 北海道 | 200 | 11.4 | 宮城県 | 99 | 14.3 | 宮城県 | 187 | 9.6 |
| 3 | 宮城県 | 169 | 9.6 | 東京都 | 89 | 12.9 | 北海道 | 131 | 6.7 |



(5) kg当り平均価格

本年の総平均価格は1,101円で前年対比97.3%、種別ごとにみると鮮魚は1,160円で前年対比99.7%、冷凍魚は1,252円で前年対比91.2%、塩干・加工品・その他は1,012円で前年対比97.5%となっている。

5 年次別取扱高推移表

(各欄の上段数量、下段金額/単位：kg、円、日、%)

| 青果物 | 令和2年 | | 令和元年 | |
|------------|---------------|-------|---------------|-------|
| | 数量 | 前年比 | 数量 | 前年比 |
| 開市日数 | 254 | 99.6 | 255 | 98.1 |
| 総計 | 28,563,065 | 100.3 | 28,474,138 | 92.4 |
| | 7,709,201,203 | 105.7 | 7,296,472,518 | 88.6 |
| 一日平均取扱高 | 112,453 | 100.7 | 111,663 | 94.2 |
| | 30,351,186 | 106.1 | 28,613,618 | 90.3 |
| 平均価格 | 270 | 105.5 | 256 | 95.9 |
| 野菜 | 19,688,690 | 99.7 | 19,741,854 | 92.3 |
| | 4,742,705,967 | 102.5 | 4,626,684,813 | 86.1 |
| 平均価格 | 241 | 103.0 | 234 | 93.2 |
| 果実 | 8,102,015 | 102.4 | 7,912,203 | 93.0 |
| | 2,754,690,443 | 112.5 | 2,448,330,467 | 93.4 |
| 平均価格 | 340 | 110.0 | 309 | 100.3 |
| 鳥卵・加工品・その他 | 772,360 | 94.1 | 820,081 | 88.5 |
| | 211,804,793 | 95.6 | 221,457,238 | 93.7 |
| 平均価格 | 274 | 101.5 | 270 | 105.9 |

(各欄の上段数量、下段金額/単位：kg、円、日、%)

| 水産物 | 令和2年 | | 令和元年 | |
|------------|---------------|------|---------------|-------|
| | 数量 | 前年比 | 数量 | 前年比 |
| 開市日数 | 257 | 99.6 | 258 | 99.2 |
| 総計 | 3,995,533 | 89.7 | 4,453,006 | 93.7 |
| | 4,400,716,244 | 87.3 | 5,039,819,785 | 93.6 |
| 一日平均取扱高 | 15,547 | 90.1 | 17,260 | 94.4 |
| | 17,123,410 | 87.7 | 19,534,185 | 94.4 |
| 平均価格 | 1,101 | 97.3 | 1,132 | 99.9 |
| 鮮魚 | 1,517,288 | 83.9 | 1,807,467 | 96.9 |
| | 1,760,330,832 | 83.6 | 2,104,670,615 | 94.7 |
| 平均価格 | 1,160 | 99.7 | 1,164 | 97.6 |
| 冷凍魚 | 552,741 | 97.8 | 565,187 | 92.8 |
| | 691,798,279 | 89.2 | 775,935,717 | 91.8 |
| 平均価格 | 1,252 | 91.2 | 1,373 | 98.9 |
| 塩干・加工品・その他 | 1,925,504 | 92.6 | 2,080,352 | 91.3 |
| | 1,948,587,133 | 90.2 | 2,159,213,453 | 93.4 |
| 平均価格 | 1,012 | 97.5 | 1,038 | 102.3 |